

「神奈川県医療的ケア児実態把握調査」の実施について

1 目的

県内の医療的ケア児の把握については、医療課が実施している県内基幹病院を対象とした「小児在宅医療患者の実態調査」(H27～)により、おおよその全数は把握しているが、市町村毎の把握状況はさまざまで、「把握できていない」とする市町村もあるなど十分ではないことから、実態把握調査を実施し、市町村へ情報提供することを主たる目的として実施する。

併せて、今後、県として医療的ケア児への支援について検討する際の基礎資料とする。

2 実施主体

神奈川県（※「神奈川県医療的ケア児等支援庁内連携会議」の仕組みを使って実施）

3 調査対象者等

ア 対象者・人数

県内市町村（政令市を除く）に在住の医療的ケア児を育てている保護者
（推定 700～800 名程度）

イ 「医療的ケア児」の範疇

当事業における「医療的ケア児」は、在宅で生活している、日常的に人工呼吸器や経管栄養などの医療的ケアを要する 18 歳未満の児（障害の有無は問わない）

4 調査概要

調査票の配布

関係機関を通じ、医療的ケア児に対して調査票を配布する。

ア 市町村（障害福祉主管課、母子保健主管課、教育委員会）

イ 県保健福祉事務所（小児慢性特定疾病担当課）

ウ 病院等（訪問看護ステーション含む）

エ 保育所、幼稚園

オ 学校（公立・私立）

カ 障害福祉サービス事業所等

5 スケジュール

| 時 期 | 内 容 | 備 考 |
|-------|---|----------------|
| 6 月 | 調査票配布 | 配布依頼先へ送付 |
| 6～7 月 | 回収 | 返信用封筒で事務局へ直送 |
| 7～8 月 | 集計、分析、情報共有 | 市町村等の連携先への情報提供 |
| 7～9 月 | 第 3 回神奈川県医療的ケア児等支援庁内連携会議 報告書作成、市町村等へ送付 | 庁内にて情報共有 |